

第8章 文 化

1	文 化 財	87
2	城郭の研究	99
3	姫 路 城	101
4	市史の刊行	101
5	埋蔵文化財センター	103

1 文 化 財

(1) 文化財行政の推進

文化財は、国民の長い時代にわたる文化活動の所産であり、これを保護顕彰することは、私たちに課された大きな責務である。

現在姫路市には、世界遺産に登録された姫路城をはじめ、国・県・市の指定等文化財は、342 件ある。さらに周知の埋蔵文化財包蔵地が 1,230 箇所、その他伝統文化や民俗文化財等多数の文化財が存在しており、これらの文化財を市民共有のかけがえのない財産として、積極的に保護し、市民の文化財に対する意識啓発と愛護思想の高揚に努めている。

(2) 文化財の保護と顕彰

ア 文化財保護審議会

姫路市指定文化財の指定及び文化財の保存活用について審議するため、文化財保護審議会を開催する。

イ 文化財調査保存活動

各種文化財、歴史資料、民俗資料等の調査、研究及び収集並びに普及を行う。

- ・ 文化財見学シリーズ 91 号「有馬道をたずねて」
- ・ 文化財見学シリーズ 92 号「丸亀藩興浜陣屋（網干陣屋）をたずねて」

ウ 文化財散策ルートの整備

昭和 58 年度から令和 5 年度において 47 か所のルートマップを作成し、希望者に無料配布するとともに、標柱及び説明板の設置等市民が手軽に親しめる文化財散策ルートを整備する。

- ・ 47 号「丸亀藩興浜陣屋（網干陣屋）めぐり」
- ・ 文化財説明板設置及び修理

エ 指定文化財の維持・管理・助成・活用

市有文化財施設の保存修理

文化財保存修理助成

郷土文化財保存活動事業に対する助成

オ 市有文化財施設で文化財活用講座を行う。

カ 指定文化財の現状変更等に関する指導

有形文化財、史跡名勝天然記念物の現状変更等に関して、文化財保護を前提とした指導・助言を行う。

(3) 埋蔵文化財の保護

周知の埋蔵文化財包蔵地における建築・土木工事に関して、届出書の提出、調査方法の協議など、文化財保護法に基づく指導助言を行う。

(4) 指定等文化財（令和 6 年 5 月 1 日現在）

種別 区分	計	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	考古 資料	歴史 資料	史跡	名勝	天然 記念物	民俗 (有形)	民俗 (無形)	選定	選択	登録
国	134	21	5	8	4	1	2	1	6	0	0	1	0	1	1	83
県	69	21	5	11	4	2	2	1	10	1	2	4	6	0	0	0
市	139	27	12	16	13	2	12	8	15	1	13	1	19	0	0	0
計	342	69	22	35	21	5	16	10	31	2	15	6	25	1	1	83

種別	文 化 財種別	名 称	員数等		指定年月日	所 在 地
国 宝	建 造 物	姫路城大天守	1	棟	昭和 26. 6. 9	本町 68
		姫路城西小天守	1	棟	昭和 26. 6. 9	本町 68
		姫路城乾小天守	1	棟	昭和 26. 6. 9	本町 68
		姫路城東小天守	1	棟	昭和 26. 6. 9	本町 68
		姫路城イロハニの渡櫓 附台所 1 棟	4	棟	昭和 26. 6. 9	本町 68
特別史跡 特別史跡追加	史跡	姫路城跡	1,078,543	m ²	昭和 31. 11. 26 平成 24. 1. 24	本町 68
国 指 定	建 造 物	姫路城（国宝をのぞく）	74	棟	昭和 6. 12. 14	本町 68
		円教寺大講堂	1	棟	大正 2. 4. 14	書写 2968
		円教寺鐘楼	1	棟	大正 2. 4. 14	書写 2968
		円教寺金剛堂 附厨子 1 基	1	棟	大正 2. 4. 14	書写 2968
		円教寺食堂	1	棟	昭和 30. 6. 22	書写 2968
		円教寺常行堂 附棟札 1	1	棟	昭和 30. 6. 22	書写 2968
		円教寺奥之院	4	棟	昭和 30. 6. 22 平成 26. 1. 27	書写 2968
		寿量院	2	棟	昭和 31. 6. 28 平成 26. 1. 27	書写 2968
		広峯神社宝篋印塔	1	基	昭和 28. 8. 29	広嶺山 52
		広峯神社本殿 附宮殿 3 基	1	棟	昭和 35. 6. 9	広嶺山 52
		広峯神社拝殿	1	棟	昭和 35. 6. 9	広嶺山 52
		随願寺	5	棟	平成 21. 6. 30	白国 5
		弥勒寺本堂	1	棟	大正 12. 3. 28	夢前町寺 1051
	古井家住宅	1	棟	昭和 42. 6. 15	安富町皆河 233-1	
	十妙院	2	棟	平成 26. 1. 27	書写 2968	
	円教寺摩尼殿 附棟札 1 枚 附図面 48 枚	1	棟	令和 6. 1. 19	書写 2968	
	絵 画	絹本着色釈迦三尊像	3	幅	大正 6. 4. 5	網干区興浜 151
		絹本着色十六羅漢像	16	幅	大正 6. 4. 5	網干区興浜 151
		紙本着色北野天神縁起	3	卷	昭和 34. 12. 18	飾磨区構 912
		絹本着色仏涅槃図	1	幅	平成 9. 6. 30	本町 68
絹本着色迦諾伐蹉尊者像 絹本着色注茶半託迦尊者像		1 1	幅 幅	大正 6. 4. 5	安富町安志 481	

[illegible]

種別	文 化 財種別	名 称	員数等		指定年月日	所 在 地
指 定	建 造	円教寺薬師堂	1	棟	昭和 40. 3. 16	書写 2968
		円教寺仁王門	1	棟	昭和 43. 3. 29	書写 2968
		本多家廟屋	5	棟	昭和 45. 3. 30	書写 2968
		石造笠塔婆	1	基	昭和 36. 5. 12	書写 2968
		石造五輪塔	1	基	昭和 44. 3. 25	別所町小林 279
		石造宝篋印塔	1	基	昭和 45. 3. 30	御国野町国分寺 121
		魚吹八幡神社摂社敷島神社本殿	1	棟	昭和 53. 3. 17	網干区宮内 193
		魚吹八幡神社楼門 附修理棟札 2 枚	1	棟	昭和 54. 3. 20	網干区宮内 193
		石造鳥居	1	基	昭和 59. 3. 28	総社本町 190
		本徳寺大広間	1	棟	昭和 63. 3. 22	亀山 324
	物	本徳寺経堂	1	棟	昭和 63. 3. 22	亀山 324
		本徳寺本堂	1	棟	平成 2. 3. 20	亀山 324
		本徳寺庫裡	1	棟	平成 3. 3. 30	亀山 324
		三木家住宅附古絵図 6 枚	6	棟	平成 2. 3. 20	林田町中構 74
		本徳寺大門 附棟札 2 枚	1	棟	平成 15. 3. 25	亀山 324
		八葉寺奥院厨子（一間春日厨子）	1	基	昭和 47. 3. 24	香寺町相坂 1068
		石造無縫塔（臨濟寺）	1	基	昭和 55. 3. 25	夢前町新庄 1468-4
		弥勒寺開山堂厨子	1	基	昭和 56. 3. 24	夢前町寺 1051
		補陀落寺観音堂	1	棟	昭和 56. 3. 24	夢前町苅野字水生山 2022
		石造無縫塔（法恩寺）	1	基	昭和 57. 3. 26	夢前町古知之庄法持 9
		今念寺 五重石塔	1	基	昭和 41. 3. 22	安富町名坂 204
	絵 画	天神縁起絵巻（明德本）	3	巻	昭和 35. 3. 31	飾磨区英賀宮町 2 丁目 70
		天神縁起絵巻（永正本）	3	巻	昭和 35. 3. 31	飾磨区英賀宮町 2 丁目 70
		絹本著色当麻曼荼羅図	1	幅	昭和 63. 3. 22	網干区興浜 151
		絹本著色僧形八幡神像	1	幅	平成 元. 3. 31	白浜町甲 398
		不動明王二童子像	1	幅	平成 14. 4. 9	本町 68
	彫 刻	木造千手観音立像	1	躯	昭和 37. 6. 15	網干区浜田 812

[illegible]

種別	文 化 財種別	名 称	員数等		指定年月日	所 在 地
市 <						

種別	文 化 財種別	名 称	員数等		指定年月日	所 在 地
市 指 定	天 然 記 念 物	矢倉神社のツクバネガシ林			平成 2. 3. 31	安富町皆河 858
		朽原天神のシイ林			平成 2. 3. 31	安富町朽原 231
		狭戸大歳神社のカヤ林			平成 2. 3. 31	安富町狭戸 847-28,29,30
		関の大カツラ	2	株	平成 2. 3. 31	安富町関 790-84
		善照寺のショウフクジザクラ			平成 2. 3. 31	安富町皆河 1073
		塩野大歳神社社叢			平成 3. 3. 30	安富町塩野 744
	有 民 形 俗	神護丸図絵馬	1	面	昭和 56. 3. 7	飾磨区恵美酒 14
	無 形 民 俗	広峯神社御田植祭 附穂揃式・走馬式			昭和 52. 3. 4	広嶺山 52
		正八幡神社龍王舞			平成 2. 11. 27	船津町 2985
		別所西獅子舞			平成 11. 12. 20	別所町別所 687-2
		浜の宮天満宮秋季例祭屋台練り台 場差し			平成 13. 8. 23	飾磨区須加 40
		書写山圓教寺鬼追い会式			平成 14. 8. 28	書写 1419
		天満力石の力持ち			平成 14. 8. 28	大津区天満 1134
		荒川神社例祭風流			平成 16. 9. 1	井ノ口 437
		津の宮鬼追い			平成 18. 3. 24	網干区宮内 193
		恵美酒宮天満神社秋季例祭台場練り			平成 19. 4. 3	飾磨区恵美酒 14
		金竹獅子舞			平成 23. 2. 21	豊富町御蔭 1197-2 金竹公会堂
		朝日谷火揚げ（火上げ）			平成 21. 2. 24	勝原区朝日谷宇坂田 597-2
		樽かき			平成 15. 1. 24	香寺町岩部
		恒屋雅楽			平成 15. 1. 24	香寺町恒屋
		北恒屋播州音頭			平成 15. 1. 24	香寺町恒屋
		土師獅子舞			平成 15. 1. 24	香寺町土師
		修正会鬼会式（鬼追い）			平成 15. 1. 24	香寺町相坂 1068
		三枝草獅子舞			昭和 53. 2. 28	夢前町前之庄
		新庄獅子舞			平成 17. 4. 23	夢前町新庄
		関の万灯			平成 3. 3. 30	安富町関
国 選 択	無 民 形 俗	播磨国総社「一ツ山」・「三ツ山」 神事			昭和 34. 3. 5	総社本町 190

種別	文化財種別	名 称	員数等		指定年月日	所 在 地
国 選 択	保 存 技 術	文化財石垣保存技術			平成 21. 9. 2	姫路市本町 68-258
国 登 録	建 造 物	兵庫県立大学ゆりの木会館 (旧姫路高等学校本館)	1	棟	平成 11. 10. 14	新在家本町 1 丁目 1-12
		兵庫県立大学講堂 (旧姫路高等学校講堂)	1	棟	平成 11. 10. 14	新在家本町 1 丁目 1-12
		姫路市立美術館 (旧第十師団兵器庫)	1	棟	平成 15. 1. 31	本町 68
		本徳寺中宗堂	1	棟	平成 15. 1. 31	亀山 324
		加藤家住宅主屋 他 7 棟※	8	棟	平成 21. 1. 8	網干区余子浜 53-1
		姫路文学館望景亭(旧 濱本家住宅)和室 他 4 棟※	5	棟	平成 21. 8. 7	山野井町 86 ほか
		梶原家住宅 (中西梶原) 主屋 他 1 棟※	2	棟	平成 21. 8. 7	大塩町 117-2
		梶原家住宅 (西梶原) 主屋 他 19 棟※	20	棟	平成 21. 11. 2	大塩町 457
		上月家住宅主屋他 6 棟※	7	棟	平成 23. 7. 25	坊主町 37-7
		魚橋家住宅主屋他 3 棟※	4	棟	平成 26. 4. 25	威徳寺町 24
		魚橋呉服店主屋他 3 棟※	4	棟	平成 26. 4. 25	威徳寺町 51-1
		芥田家住宅主屋他 2 棟※	3	棟	平成 26. 4. 25	野里寺町 24
		土井家住宅主屋他 2 棟※	3	棟	平成 30. 5. 10	大津区平松 503
		真宗大谷派姫路船場別院 本徳寺行在所	1	棟	平成 30. 11. 2	地内町 1 番地 1
		旧姫路郵便局電話事務室	1	棟	令和 3. 6. 24	総社本町 115
		旧八木家住宅主屋他 4 棟※	5	棟	令和 3. 10. 14	余部区下余部 474-1
		鷹津家住宅主屋他 4 棟※	5	棟	令和 3. 10. 14	御国野町深志野 586
		旧藤森家住宅本館他 7 棟※	8	棟	令和 4. 6. 29	船橋町三丁目 2
		徳壽院本堂他 1 棟※	2	棟	令和 5. 8. 7	船橋町三丁目 2
	名 勝	梶原氏(西梶原)庭園	3,879.86	m ²	平成 20. 3. 28	大塩町字宮ノ本、同字宮前

※ 各棟ごとに登録名称を有すが、便宜上集約記載する。

2 城郭の研究

世界文化遺産姫路城を中心に国内の城郭研究とそれに関わる学術・歴史の情報拠点のひとつとして、教育・文化の発展に寄与することを目指す。

(1) 組織概要

名 称：姫路市立城郭研究室

開 室：平成2年4月1日

所在地：姫路市本町 68 番地 258

位 置：日本城郭研究センター 2 階（一部地下 1 階）

改 修：令和2年7月～令和3年5月 739,200（千円） 一般競争入札（株）神崎組



姫路市立城郭研究室
シンボルマーク

(2) 事業内容

- ① 城郭に関する調査・研究及びレファレンス
- ② 姫路城及び姫路地域に関わる歴史的資料の収集・調査
- ③ 姫路城石垣に関する調査・研究
- ④ 『城郭研究室年報』Vol.34 の発行（A 4 版 1000 部発行）など、調査・研究成果の情報提供
- ⑤ 城郭市民セミナーの開催

	日 時	テーマ	講 師
第 1 回	令和 6 年 6 月 15 日（土）	世界遺産 Himeji-jo	大谷輝彦（姫路城総合管理室）
第 2 回	令和 6 年 7 月 20 日（土）	交差するまなざし：博覧会と人類の歴史	五月女賢司（大阪国際大学準教授）
第 3 回	令和 6 年 8 月 24 日（土）	摂関政治と天皇	樋口健太郎（龍谷大学准教授）
第 4 回	令和 6 年 9 月 28 日（土）	二条城の歴史と御殿について	来本雅之（元離宮二条城事務所）
第 5 回	令和 6 年 10 月 26 日（土）	姫路城石垣見学会（仮題）	小柴治子（姫路市立城郭研究室）
第 6 回	令和 6 年 11 月 16 日（土）	和船について（仮題）	溝下和裕 （神戸大学海事博物館特別専門員）
第 7 回	令和 6 年 12 月 21 日（土）	姫路城城下町を巡る（仮題）	姫路市立城郭研究室職員 姫路市埋蔵文化財センター職員
第 8 回	令和 7 年 1 月 18 日（土）	酒井忠邦の米国留学（仮題）	三角菜緒（姫路市立城郭研究室）

⑥ 史料講座の開催

講 師 初級 石橋 知之（神戸大学人文学研究科特命助教）

中級 三角 菜緒（姫路市立城郭研究室）

開催月 初級 令和 6 年 11 月～12 月（計 6 回）

中級 令和 6 年 9 月～10 月（計 6 回）

⑦ 「匠の技」の保存・継承

- ・文化財石垣技術の保存・継承
- ・文化財石垣保存技術協議会事務局として研修等の支援
- ・姫路城漆喰塗体験会の開催

日時 令和 6 年 9 月頃（予定）姫路城三の丸広場

⑧ 姫路城跡石垣整備事業

(3) 資料の収集・整理

- ・所蔵書籍（パンフも含む）…44,858 点（内訳は下記表参照）
- ・古文書（寄託は含まない）・写真・「昭和の修理工事」抽出資料…約 27,800 点
- ・翻刻：「酒井家文書」デジタルデータのプリント・製本

年 度	お も な 種 類							その他 (パンフ含)	総 数	(うち受贈)
	発掘報告	建築報告	その他報告	図 録	紀要・年報	史 料 等	分布調査			
～ 1993	685	97	72	155	269	376	34	2,853	4,541	—
1994	122	27	4	55	129	82	1	406	826	405
1995	221	16	5	42	92	29	5	355	765	330
1996	262	5	17	58	72	23	7	203	647	320
1997	208	7	16	42	99	44	11	207	634	352
1998	217	6	14	89	98	61	8	465	958	761
1999	250	6	9	68	119	45	6	294	797	613
2000	314	13	13	65	143	41	6	317	912	801
2001	127	3	17	73	114	37	2	266	639	500
2002	218	5	47	68	140	80	22	368	948	698
2003	265	10	51	97	384	82	8	907	1,804	1,571
2004	490	9	61	95	161	106	4	568	1,494	1,115
2005	351	8	54	13	150	90	19	737	1,422	1,066
2006	278	12	40	10	164	137	7	531	1,179	819
2007	299	6	46	113	157	96	11	428	1,156	363
2008	365	4	42	88	139	189	4	443	1,274	946
2010	279	10	58	93	187	99	5	621	1,352	1,007
2011	324	8	49	154	178	131	14	706	1,564	1,211
2012	226	13	46	79	166	74	4	526	1,134	947
2013	176	7	50	88	151	125	13	753	1,363	985
2014	215	6	63	159	177	108	6	1,740	2,474	2,226
2015	950	10	206	266	218	83	17	1,086	2,836	2,627
2016	315	5	65	152	159	80	10	1,470	2,256	2,040
2017	224	6	49	76	134	75	3	515	1,082	876
2018	243	5	48	81	132	60	6	413	988	820
2019	185	8	52	74	150	68	3	805	1,345	1,260
2020	211	3	33	54	126	51	2	374	854	726
2021	229	5	58	89	121	66	0	380	948	845
2022	1,521	256	532	306	494	259	21	2,416	5,805	5,632
2023	150	5	31	90	146	56	1	382	861	767
合 計	9,920	581	1,848	2,892	4,969	2,853	260	21,535	44,858	32,629

3 姫路城

姫路城は、播磨の守護職赤松則村が元弘3年（1333年）砦を築き、その子貞範が正平元年（1346年）城を構えたことに始まるといわれている。その後小寺氏、黒田氏の時代を経て、天正8年（1580年）西国攻略の根拠地として羽柴秀吉が入城し、3層の天守を築いた。関ヶ原の役後、徳川家康の娘婿池田輝政が慶長6年（1601年）に本格的に築城し、現在の5層6階地下1階の大天守を築いた。

池田氏のあと本多・松平・榊原の諸氏を経て酒井氏が入封、明治を迎えた。

現在、大天守と三つの小天守、これらを結ぶ渡櫓（以上「国宝」）をはじめ、化粧櫓など櫓27棟、門15棟、土塀約1,000㍴（以上「重要文化財」）の建造物と、内堀・中堀の大部分が残っており、中堀以内は特別史跡に指定されている。

また、平成5年12月11日、法隆寺とともにわが国で最初に世界文化遺産に登録された。

概要

・ 城 域

内堀以内 約23㍴ 中堀以内 約108㍴ 外堀以内 約233㍴

・ 天守群の規模・構造

ア 大天守 木造瓦葺白漆喰総塗籠造 5層6階地下1階

大天守の高さ 46.35㍴（石垣14.85㍴、建物31.50㍴、海拔92㍴）

大天守の広さ 延床面積 2,409m²（地階375m² 1階550m²……6階は115m²）

大天守の心柱 高さ24.6m

イ その他の建物

東小天守 3層3階地下1階 木造瓦葺白漆喰総塗籠造

乾小天守 3層4階地下1階 //

西小天守 3層3階地下2階 //

・ 文化財指定

国 宝 大天守・東小天守・乾小天守・西小天守・イ・ロ・ハ・ニの各渡櫓 8棟

重要文化財 折廻り櫓・井郭櫓・帯の櫓・化粧櫓など27棟

菱の門・備前門など門15棟・土塀32棟（約1,000㍴）

特 別 史 跡 姫路城跡（中堀以内約108㍴）

4 市史の刊行

市史等を通して、郷土の歴史に関する学術的な成果を広く社会に還元し、本市が歩んできた歴史について理解を深める一助とする。また、市域に存する歴史史料の散逸を防ぐため、家文書等の調査、収集、整理、保存を行うとともに、史資料の利活用を図る。

(1) 沿 革

大正 8 年度 市制施行30年記念として初めて「姫路市史」を発刊した。

昭和 24 年度 姫路市史編集事業に着手、嘱託多田初治を委嘱、担当課は総務局調査課。

昭和 30 年度 「姫路市史第1巻地理篇」を発刊した。

昭和 41 年度 企画室から教育委員会図書館へ事務を移管した。

昭和 44 年度 「姫路市史第2巻歴史篇」を発刊した。

昭和 48 年度 「姫路市史史料編1」を発刊した。

昭和 54 年度 「姫路市史第3巻」を発刊した。

昭和 56 年度 姫路市史編集専門委員設置規則を新たに制定し、近世・近現代を担当する委員に神戸大学教授八木哲浩ほか7名を委嘱、あわせて教育委員会事務局に市史編集室を設置し新たな市史編集体制を発足させた。

平成 7 年度	資料叢書 1 「飾磨県布達 1」を発刊した。これは明治 4 年に飾磨県が誕生し、その県庁が姫路におかれ、同 9 年兵庫県に統合されるまでの間に管内に出された法令等を集めたものである。平成 12 年度までに全 9 巻を発刊し、完結した。
平成 14 年度	資料叢書 2 「姫陽秘鑑 1」を発刊した。これは、姫路藩主酒井忠績の命をうけ、酒井家に伝わる「六臣譚筆」、「村翁夜話集」、「姫路志」などの史料や、家臣各家伝来の史料などを祐筆たちが編纂したものである。
平成 17 年度	「姫陽秘鑑 4」を発刊した。
平成 20 年度	香寺町史の「通史資料編」を発刊した。
平成 23 年度	香寺町史の「通史編」を発刊し、完結した。
令和 4 年度	昭和 56 年から編さんを開始した姫路市史の「第十六巻別編 年表・索引」を発刊し、完結した。
令和 5 年度	市史の編さんが完了したことから市史編集室を廃止し、城内図書館内に史料整理室を新設した。姫路市史編集専門委員設置規則を廃止した（令和 6 年 4 月 1 日施行）。

(2) 姫路市史の巻の構成と配本状況

ア 本 編	— 第 1 巻（上）自然	第 13 回配本（平成 13 年度）
	第 1 巻（下）考古	第 19 回配本（平成 24 年度）
	第 2 巻古代・中世	第 21 回配本（平成 29 年度）
	第 3 巻近世 1	第 4 回配本（平成 2 年度）
	第 4 巻近世 2	第 16 回配本（平成 20 年度）
	第 5 巻（上）近現代 1	第 12 回配本（平成 11 年度）
イ 資料編	— 第 5 巻（下）近現代 2	第 14 回配本（平成 14 年度）
	第 6 巻近現代 3	第 20 回配本（平成 27 年度）
	第 7 巻（上）自然	第 9 回配本（平成 9 年度）
	第 7 巻（下）考古	第 17 回配本（平成 21 年度）
	史料編 — 第 8 巻古代・中世 1	第 15 回配本（平成 16 年度）
	第 9 巻中世 2	第 18 回配本（平成 23 年度）
ウ 別 編	— 第 10 巻近世 1	第 1 回配本（昭和 60 年度）
	第 11 巻（上）近世 2	第 8 回配本（平成 7 年度）
	第 11 巻（下）近世 3	第 10 回配本（平成 10 年度）
	第 12 巻近現代 1	第 3 回配本（平成 元年度）
	第 13 巻（上）近現代 2	第 6 回配本（平成 5 年度）
	第 13 巻（下）近現代 3	第 22 回配本（令和 2 年度）
ウ 別 編	— 第 14 巻姫路城	第 2 回配本（昭和 63 年度）
	第 15 巻（上）民俗編	第 5 回配本（平成 4 年度）
	第 15 巻（中）文化財編 1	第 7 回配本（平成 6 年度）
	第 15 巻（下）文化財編 2	第 11 回配本（平成 10 年度）
	第 16 巻年表・索引	第 23 回配本（令和 4 年度）

(3) 香寺町史の巻の構成と配本状況（平成 18 年度以降）

- ・通史資料編 第 1 回配本（平成 20 年度）
- ・通史編 第 2 回配本（平成 23 年度）

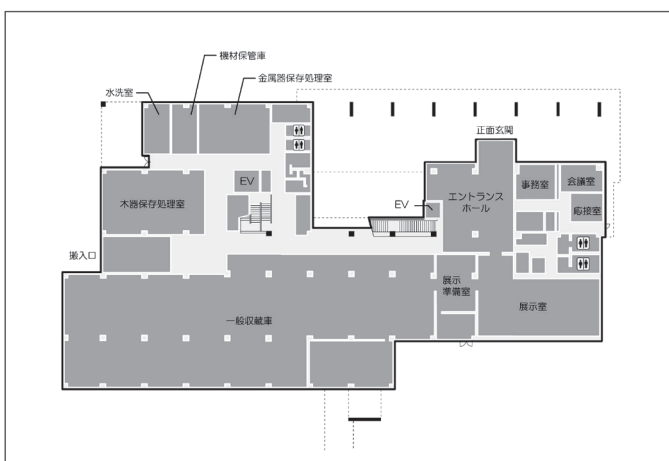
8 埋蔵文化財センター

郷土の歴史遺産である埋蔵文化財を保護顕彰し、次世代に継承するため埋蔵文化財に関する調査研究、出土品の整理保存、情報の収集提供、資料の公開活用及び学習啓発を行う（平成 17 年 11 月開館）。県指定史跡宮山古墳に隣接し、市内における遺跡保存活用の拠点施設をめざしていく。

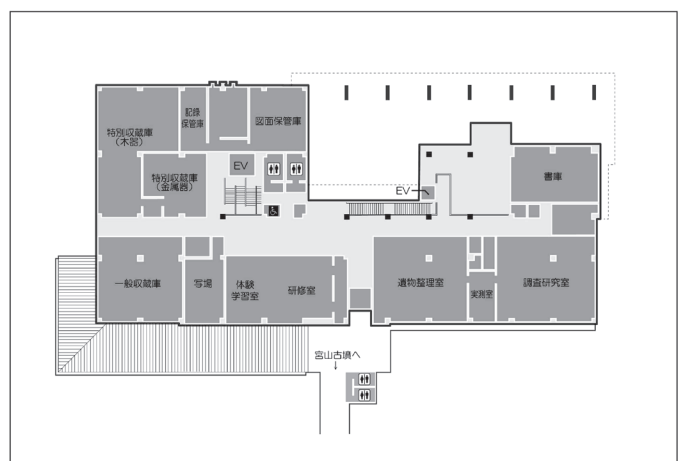
(1) 施設の名称

- ◇ 名 称 姫路市埋蔵文化財センター
- ◇ 位 置 姫路市四郷町坂元 414 番地 1
- ◇ 敷地面積 8,951㎡
- ◇ 建築面積 2,300㎡
- ◇ 延床面積 5,360㎡
- ◇ 建物構造 鉄筋コンクリート 2 階建
- ◇ 施設の内容（入館無料）

施 設 名		面 積	用 途
展示室（準備室含む）		204.33㎡	企画展の開催（発掘調査出土品の展示等）
研修室・体験学習室		141.43㎡	講演会、体験学習等の開催
調査研究室（書庫含む）		263.28㎡	発掘調査の成果を基にした調査研究
実測室・遺物整理室		195.65㎡	出土品の調査及び整理保存
木器保存処理室		132.02㎡	出土した木器の保存処理施設
金属器保存処理室		73.35㎡	出土した金属器の保存処理施設
その他付属施設		112.77㎡	水洗室、機材保管庫、写場
一般収蔵庫（1・2 階）		1,726.48㎡	出土品の保管
特別収蔵庫	木器	154.77㎡	国指定重要文化財等重要な出土品の保管
	金属器	71.27㎡	〃
その他保管庫		113.48㎡	図面・記録等の保管
事務所等管理諸室		73.67㎡	事務所、会議室等
その他		2,097.5㎡	ロビー、廊下、機械室、倉庫



姫路市埋蔵文化財センター 1階平面図



姫路市埋蔵文化財センター 2階平面図

(2) 普及啓発事業

◇ 企画展の開催

発掘調査の成果を広く市民に公開し、郷土の歴史に対する理解を深めるために、企画展を開催する。

(令和6年度開催予定)

開催予定	企画展のテーマ
R6.4.28～R7.4.6	企画展「TSUBOHORI－発掘調査展 2024－」 令和3年度に実施した大小510件以上にものぼる発掘調査の中から、選りすぐりの調査成果を出土遺物と写真パネルで紹介する。合わせて令和4年度の主要な調査についてもパネルで紹介する。

(令和5年度開催状況)

開催時期	企画展のテーマ	開催日数	入館者数
R5.4.29～R6.3.31	姫路城世界遺産登録30周年記念展 「姫路城入門」	281日	6,164人
R5.9.16～R6.3.31	姫路城世界遺産登録30周年記念展 「姫路城」	161日	4,091人

◇ 体験学習会等の開催

埋蔵文化財に対する関心を育て、理解を深めるため、石の勾玉づくりなどの体験学習会、史跡見学会、講演会等を企画展に合わせて随時開催する。

(令和6年度開催予定)

事業名	内 容
勾 玉 づ く り	滑石を削って勾玉を製作。毎日曜日（通年）開催
史 跡 見 学 会	市内の指定史跡等を専門職員の解説を聞きながら巡る 令和6年 6月 9日「プレミアムツアー ～播磨風土記の里を訪ねて～」 （壇場山古墳、播磨国分寺跡他） 令和6年 12月 21日「姫路城攻略」（姫路城城下町跡） ※城郭研究室・埋蔵文化財センター共同企画 令和7年 2月 23日「恒屋城攻略」（恒屋城跡）
体 験 学 習 会	出土遺物などを活用した体験学習を通じて、市民の埋蔵文化財に対する関心や保護意識を醸成する 令和6年 12月 8日「奈良時代のボードゲーム「かりうち」で遊ぼう」 令和7年 2月 9日「バレンタインにチョコレートで鏡を作ろう」 令和7年 3月 9日「ホワイトデーにせっけんで勾玉を作ろう」
講 演 会 等	外部講師や専門職員による講演会、シンポジウム等を通じて、埋蔵文化財センターの活動の周知と埋蔵文化財に対する市民意識の向上を図る 令和6年 9月 16日「プレミアム ギャラリートーク」 令和6年 11月 10日 「ベテラン×若手専門職員～考古学の最新成果とその展望～」
展 示 解 説	企画展「TSUBOHORI ー発掘調査展 2024 ー」展示解説 令和6年 5月 11日、7月 13日、8月 12日、10月 14日、12月 14日、令和7年 2月 15日（各日とも 10:30 からと 13:30 からの 2 回開催 各回 1 時間程度）

(令和5年度開催状況)

事業名	内 容
勾 玉 づ く り	滑石を削って勾玉を製作。毎日曜日（通年）開催
シンポジウム	「池田輝政の築城とその継承 ー姫路・岡山・鳥取ー」 令和5年 12月 10日 池田輝政の姫路城と、その子孫が城主となった岡山城、鳥取城を比較しながら、池田氏の築城技術について考える
史 跡 見 学 会	発掘調査の成果をもとに、姫路城と城下町を専門職員の解説を聞きながら巡る 令和5年 10月 15日「姫路城攻略 城内侵入」（姫路城内曲輪） 令和5年 11月 11日「姫路城攻略 中堀突破」（姫路城中曲輪） 令和6年 2月 3日「姫路城攻略 外堀包囲」（姫路城外曲輪）
展 示 解 説	姫路城世界遺産登録 30 周年記念展「姫路城」オープニング展示解説 令和5年 9月 16日（46 人）、9月 17日（87 人）、9月 18日（85 人） 各日とも 10:00、11:00、13:00、14:00、15:00 開始 各回 1 時間程度 姫路城世界遺産登録 30 周年記念展「姫路城」展示解説 令和5年 11月 3日（31 人）、令和6年 2月 25日（23 人） 両日とも 10:30 からと 13:30 からの 2 回開催 各回 1 時間程度 ※（ ）内は参加人数

(3) 発掘調査・整理研究

- ・区画整理等の公共工事や民間開発に伴う受託事業、及び国庫補助事業として発掘調査を行う。また、これまでの発掘調査で出土した土器などの資料の整理・研究を行う。

◇ 発掘調査事業内容

(令和6年度実施予定)

区 分	事 業 の 内 容
国庫補助事業	市内遺跡発掘調査・確認調査・試掘調査
受 託 事 業	英賀保駅周辺土地区画整理発掘調査、民間開発工事発掘調査、城東線道路整備発掘調査 他
事業課予算分	JR 網干駅前区画整理事業に伴う発掘調査、阿保地区整備事業に伴う発掘調査 他

(令和5年度実施状況)

区 分	事 業 の 内 容
国庫補助事業	市内遺跡確認調査（3件）
受 託 事 業	英賀保駅周辺土地区画整理発掘調査 他 事業件数 合計6件
事業課予算分	JR 網干駅前区画整理事業に伴う発掘調査（関ノ口遺跡） 他 事業件数 合計16件

◇ 発掘調査現地説明会

発掘調査現場において、遺構や遺物の状況、遺跡の歴史的背景等を調査担当者が解説する。

(令和5年度実施状況)

実 施 日	遺 跡 名（所在地）	参加人数
令和5年 7月22日	姫路城城下町跡（姫路市福中町）	209人
令和5年 9月 9日	関ノ口遺跡（姫路市網干区和久）	20人
令和6年 1月13日	関ノ口遺跡（姫路市網干区和久）	146人

(4) 史跡保存整備事業

- ・史跡の毀損拡大を防止するとともに、見学者の安全を確保することを目的として、学識経験者等の指導に基づき保存整備事業を実施する。

(令和6年度実施予定)

史 跡 名	事 業 の 内 容
置 塩 城 跡	研究会の開催、石垣復旧事業報告書の作成
見 野 古 墳 群	研究会の開催、見野古墳群10号墳毀損防止のための応急対策

(令和5年度実施状況)

史 跡 名	事 業 の 内 容
置 塩 城 跡	研究会の開催、石垣構造調査等資料作成、石垣保存修理工事
見 野 古 墳 群	見野古墳群10号墳現況調査